

農業情報システム学分科会（第21期・第4回）議事要旨

日時：平成21年10月2日（金）13:00～14:35

場所：日本学術会議6階 6-C（1）会議室

出席者：野口 伸（委員長）、澁澤 栄（副委員長）、野並 浩（幹事）、斎藤誠一（幹事）、梅田幹雄、大下誠一、大政謙次、木谷 収、木村俊範、古在豊樹、笹尾 彰、橋口公一、橋本 康、前川孝昭、村瀬治比古

オブザーバ：池田英男、清水 浩、高山弘太郎、田中道男、羽藤堅治、吉田 敏、加藤正人

事務局：小川保彦

資料

- 資料1 議事要旨（第21期第3回）
- 資料3 知能的太陽光植物工場の新展開(1)
- 資料4 日本学術会議シンポジウムについて
- 資料5 分科会ワーキンググループ「農林水産RS/GIS」
- 資料6 提案／公開シンポジウム「持続可能な食料生産；RS/GIS/GPS技術の応用」
- 資料7 分科会委員の追加
- 資料8 日本学術会議の活動状況等に関する年次報告
- 資料9 知能的植物工場に関する背景の学術的解説書
- 資料10 次世代沖縄型植物工場の開発
農業情報システム学分科会名簿・WG「知能的太陽光植物工場」名簿・WG「農林水産RS/GIS」名簿

議事

会議に先立ち新たにオブザーバとして分科会に加わった清水 浩京都大学農学研究科教授、加藤正人信州大学農学部教授が紹介された。また、資料2は会議資料として採用せず回収した。

1. 議事要旨（第21期第3回）が承認された【資料1】。
2. 橋本 康WG幹事からWG「知能的太陽光植物工場」の活動状況について説明があった【資料3】。提言（対外報告）の骨組みとなる原稿をWG委員が中心となって執筆を進め、「農業及び園芸」（養賢堂）にシリーズとして掲載することが提案され了承された。内容について特に植物工場の消費エネルギーに関する議論が必要との意見があり、その取り扱いはWGにおいて検討することになった。
3. WG「知能的太陽光植物工場」からシンポジウム「植物工場における自動化・情報化技術の展望（案）」の開催提案があった【資料4】。シンポジウム名を工夫する、関連学協会との連携を強化するなどの意見が出された。今後、WGにおいて企画案を再検討し次回分科会で幹事会向けの提案書を審議することになった。
4. 斎藤誠一WG委員長からWG「農林水産RS/GIS」の活動計画について説明があり了承された【資料5】。また、新たに分科会委員兼WG「農林水産RS/GIS」委員として東京大学空間情報科学研究センター長・教授の柴崎亮介先生（日本学術会議連携会員）が加わるとの報告があった【資料7】。
5. 斎藤誠一WG委員長から公開シンポジウム「持続可能な食料生産：RS/GIS/GPS技術の応用」【資料6】の内容説明があり、シンポジウム会場として学術会議内の会議室を使用する、時間は13:30～17:30、12:00～13:00に昼食をとりながらWG及びシンポジウム打合せを行うなどが決まった。
6. WG「知能的太陽光植物工場」の新たな委員として今井 勝先生、上野正美先生、川満芳信先生、近藤義和先生が承認された。また、今後はWG委員（分科会オブザーバ）の追加はWGの専決事項とし、分科会では報告事項とすることになった。
7. 野口委員長から日本学術会議の活動状況等に関する年次報告について分科会報告【資料8】を期限までに提出したとの報告があった。
8. 次回分科会（21期5回）は12月17日（木）10:00～12:00。

以上